



# 東京多摩スマイルワイズメンズクラブ

chartered on 2016.7.17 (2023.7.1 東京多摩みなみクラブと東京町田スマイリングクラブ合併)

2024年  
8月号  
(第14号)

## 今月のことば

「神を愛する人は、兄弟をも愛すべきです。これが、神から受けた掟です。」新約聖書ヨハネの手紙Ⅰ 4章21節  
(綿引康司 選)

**2024～2025 年度 主題**

クラブ会長 伊藤幾夫「みんなが集えるクラブを！」  
 東新部部长 今井武彦(東京むかで)「ALL 東新部、試練を越えて進もう！」  
 東日本区理事 山田公平(宇都宮)「ワイズの方向性を見極める」  
 アジア太平洋地域会長 ジョウン・ウォン(香港)「大きなインパクトを起こそう」  
 国際会長 A.シャナヴァスカーン(インド)「より良い世界のために、共に」  
 《クラブ役員》会長 伊藤幾夫 副会長 為我井輝忠 直前会長 深尾香子、為我井輝忠  
 書記 田中博之 副書記 尾張日出夫 会計 綿引康司 副会計 城田教寛  
 担当主事 小野 実

(当クラブは多摩市社会福祉協議会、町田市社会福祉協議会ボランティアセンターの登録団体です)

今月の強調テーマ: 「戦略 2032」(「戦略 2023」については4ページに解説をつけました)

## 8月“納涼”例会プログラム

日時: 8月6日(火) 18:30~20:30  
 会場: 個室居酒屋「多摩センター邸」  
 (多摩センター駅東口徒歩1分ビル9階)  
 会費: 2,000円(クラブの補助あり)  
 (慈有塾の高校生は無料招待)

受付・司会: 綿引康司

- \*開会あいさつ 伊藤幾夫会長
- \*今月のことば 綿引
- \*ゲスト/ビジター紹介 会長
- \*乾杯 司会
- \*会食
- \*懇談(峰さんからひとこと)
- \*チーム報告(プランター野菜講座、農園、社協など)
- \*YMCA ニュース、各種アピール等
- \*今月のハッピーバースデー
- \*閉会ひとこと 会長

## 8月のHappy Birthday

綿引美代子メネット(4日)、小野実(19日)、  
城田教寛(21日)

## 巻頭言「夏の今昔物語」



みなさまこんにちは!  
 盛夏に入ると「ごきげんよう」よりも「暑いですね」が定型化している昨今ですが、とにかく水分補給は大切! タイミングを決めて少量でも補給することで行動力の低下を防ぎましょう。さて周知の通り過去100年で地球上の温度は上昇し、世界平均では+0.76℃、日本では+1.76℃となっているそうです。(気象庁「世界の年平均気温」の「世界の年平均気温偏差の経年変化」より)  
 私たちもすでに体感している影響は多方面にわたり、「食」「健康」「気象災害」が特に顕著です。ところで、私の幼少時は夏といえば「青い羽根の扇風機、打ち水、氷屋」などなど今では遠く懐かしい記憶が盛り沢山ですが、現在はどうでしょう。エアコンは普及し、ひんやりする布団、衣服にも扇風機が内蔵される時代。全ては地球温暖化に人類が適応するための工夫と言えますが、根本的な問題となっている大気、環境汚染への配慮とSDGsの推進など、全ては今を生きる人類のマインドセットに委ねられていることは間違いありません。今後さらに私たちが体験する未知の現象に体を沿わせながら、ワイズメンとしてふさわしくありたいですね。

(伊藤江理夫記)

7月例会	在籍17名 (内広義会員5名) 例会出席 14名 (リアル12名, Zoom2名)	出席内訳	メンバー 12名	BF切手 0g	オークション 0円
			メーキャップ 1名	(今年度累計 g)	(今年度累計 0円)
			出席率 100%	ぼんぼこファンド 0円	スマイル 8,580円
			メネット 0名	(今年度累計 0円)	(今年度累計 8,580円)
			ゲスト・ビジター 2名		

## 7月例会報告

7月2日(火)、東京多摩スマイルワイズメンズクラブの今年度の初例会が玉川学園コミュニティーセンターをメイン会場として、Zoomとのハイブリッドで開催されました。7月例会は恒例の部長公式訪問の例会であり、また、峰さんの転入会式、クラブ役員の就任式も行われました。

部長公式訪問の部長スピーチで、今井部長は、部報第1号の最初のページを参照しながら、部長主題、スローガン、活動方針の説明を行い、メタノイア支援の今後、東京センテニアルクラブの動向(今年度活動継続)についての報告、Y友広場の活動参加へのアピール等も行われました。続いて、峰さんの転入会式が伊藤会長の司式で行われました。峰さんの紹介、式文



読み上げ、握手、クラブベストの手渡しが行われ、一同拍手で歓迎しました。峰さんからは、転入の経緯の説明、決意表明が行われました。

その後、今井部長の司式でクラブ役員の就任式が行われました。国際協会制定の式文が読み上げられ、



一同、誓約を行い、各役員からは、ひとことずつ決意表明が行われました。

YMCA 報告、プランター野菜講座の益金の扱いの提案等の、報告、アピールが行われ、スマイル、YMCAの歌、閉会点鐘で、定刻少し前に散会となりました。久しぶりに、一時帰国中の広義会員の寺沢さんの参加がありました。(田中記)

<出席者>石田、伊藤(幾)、伊藤(江)、小野、城田、田中、為我井、寺沢、深尾、藤田、峰、綿引、  
<ビジター> 【東京】加藤義孝、【東京むかで】今井武彦  
<メーカー>尾張

## 7月第2例会(運営会議)報告

7月8日(月)、第2例会(運営会議)がZoomにて開催されました。

7月例会報告、会計報告、8月ブリテン構成の他に以下のことが報告、話し合われました。

- ぼんぼこ農園関連：農園に行ったことのないメンバーのための見学会を企画する。
- 町田福祉バザー：11月2日(土)開催の町田福祉バザーに出店する。自宅の不要品を持ち寄る。
- 東日本区ロースター(名簿)：各自修正すべき箇所が無いか、原稿をチェックする。
- 東京八王子クラブ30周年記念例会：城田、田中、為我井、深尾、藤田、綿引が参加。クラブから祝い金1万円を持参する。
- 8月納涼例会：会場は、各自が持ち寄ったアイデアをもとに、多摩センター駅前の「多摩センター邸」に決定。会費は、メンバー、ビジター、ゲストとも一律2,000円(クラブ会計から補助)。慈有塾の生徒が参加の場合は無料。会場予約、出欠管理：深尾さん
- 昨年度決算：承認 (田中記)  
<出席者>石田、伊藤(幾)、尾張、小野、城田、田中、為我井、深尾、綿引 合計9名

## 東新部第1回評議会報告



7月20日(土)13:30~16:15、東新部第1回評議会が東京YMCA東陽町センター(ハイブリッド)で開催されました。出席20名(リアル15名、オンライン5名)。当クラブからは、石田(部会計)、伊藤(部書記、クラブ会長)、深尾(直前部長)、綿引(部地域奉仕・Yサ事業主査、クラブ会計)、城田(部ユース事業主査)、田中(クラブ書記、オンライン)の6名が出席しました。主な議案は、第2号議案「次々期部長・次期監事指名委員委嘱」については、従来は6名を選任していましたが、5名となりました。部内の会員が、部則のできた当時と比べて半減していることがその理由です。賛成多数で承認されました。第3号議案「次期部大会の実行委員を各クラブから選出」について、8月中旬に1名を選出することが承認されました。第6号議案「2024-2025年度修正予算案」について、評議員から質問、要望が出されました。特別会計支出の部で、ASF事業が予算ゼロというのは、ASF献金を集めていることと整合性がないのではないかと。これについては必要に応じて対応していくことで承認されました。最後に、NPO法人メタノイアへの献金(16,500円)を集め、閉会しました。

(伊藤幾記)



## 8月「納涼例会」のご案内

8月例会は今年も「納涼例会」として、下記のとおり開催します。

みなさんのご参加をお願いします。

今回は、7月に転入会された峰さんの歓迎会も兼ねています。通常の例会では、お互いにゆっくりお話しする機会がなかなかむずかしいので、このような機会に懇親を深められたらと思います。

\*日時：8月6日(火)18:30～20:30

\*場所：「多摩センター邸」

(多摩センター駅東口徒歩1分ビル9階)

場所は下記 URL をご参考にしてください。

<https://tabelog.com/tokyo/A1327/A132702/13297649/>

\*会費：2,000円(クラブの補助あり)

(慈有塾の高校生は無料招待)

また、私たちクラブが日頃サポートしている「ほくの家\*」と「慈有塾\*」のみなさんにもお声をかけています。

\*)「ほくの家」は、一人親世帯や生活困窮者を対象としたいわゆる“フードパントリーサービス”を慈善事業として、地元多摩市の諏訪地域に拠点を置き、長く取り組んでいます。また、慈有塾は、聖蹟桜ヶ丘駅近くに教室を持ち、“高卒資格認定試験の受験生”を対象に無料塾を営むNPO法人です。

### 会計担当からの知らせ

東日本区費(前期分)、および東新部費の支払いについてお知らせします。

ワイズメンズクラブは7月から新年度入りし、クラブは8月の納入期限までに東日本区費(前期分)と東新部費を納めます。東日本区費は一人当たり年間15,000円で、今回は半期分の7,500円を支払います。また東新部費は一人当たり年額3,600円で、その全額とYVLF協力金(1クラブ10,000円)、CS資金とASF資金(一人当たり合計で1,500円)を東新部に納めます。なお、その納付対象は、東日本区費が一般会員、広義会員、担当主事、東新部費は一般会員と広義会員です。(綿引記)

### 第7期プランター野菜講座4&5回目の報告

6月25日(火)に4回目の講座が行われました。お馴染みのメンバーが、Zoom画面に登場し、何と画面に登場したのは聴講生2人を除く参加登録者全員の20人となりました。プランター野菜講座が始まって初の快挙です。こんな嬉しいことはありません。

せん。Zoom画面に登場した顔は、どなたも真剣そのものでした。藤田講師による生育写真のマンツーマンの



Q&Aは、大変盛り上がり予定時間を大幅に超えてしま

うほどでした。熱心さがZoom画面を通してピンピン伝わってきました。2週間後の7月9日(火)は、第7期プランター野菜講座の最終回でした。

この日は、ワイズの他の予定と重なり参加者は少なめでしたが、時間を調整していただき、延べ15

人が画面に登場してくれました。開始直前に駐車場で転倒し、肩を骨折



したため参加できなくなった相川明実さんの近況を知らされ驚きました。一刻も早い回復をお祈りいたします。最終回は、参加者と藤田講師の生のやり取りの時間を多めに取り、アットホームな雰囲気の中で楽しい時間を過ごしました。何となく仲間意識が芽生えてきたように感じました。回を重ねる毎にみなさんが、Zoom画面越しに会話が弾む状況が、自然発生的に生まれてきました。あつという間に最終回を迎え、名残り惜しい回になりましたが、「今度こそは」「次回はさらにチャレンジに取り組みたい」など意欲的な言葉も多く聞かれました。最終回は、恒例となりました参加費を貯めたファンドを元とした寄付金の収支報告もできました。東京YMCAに2万円、地元一般社団法人「ほくの家」と「慈有塾」に各1万円を寄付することができ、参加者のみなさんから大きな拍手を頂戴することができました。(石田記)

### ぽんぽこ農園便り

梅雨後期に入り連日の猛暑の時間帯を避け、夕立をかい潜り、スケジュールの合間を縫って農園に顔を出すことが難しく、足を運ぶ回数は減っています。結果、佐々木さんにおんぶにだっこ状態が続いています。夕方5時過ぎに2～3日の間隔でぽんぽこ農園に顔を出してもらっています。夏野菜の生育状況を見ながら手際よく収穫してくれます。育ち過ぎず美味しいタイミングを逃すことなく収穫を繰り返しています。収穫した夏野菜のナス(何回かに分け植え替え実施)、キュウリ、ピーマン、ミニトマト、オクラたちは、適度の水分を得て直ぐ大きくなります。

採れたての夏野菜は、我々が物心両面で支援している「ほくの家」と慈有塾にその日のうちに佐々木さんが届けてくれます。そして「ほくの家」の荒井代表や慈有塾の先生たち、生徒たちと触れ合いながら楽しい会話を大切にしています。ぽんぽこ農園が、輝ける存在としてしっかり根付き、感謝される関係が出来上がっています。それを維持支えてくれているのが我らの佐々木清勝さんです。佐々木さんが足繁く届けてくれた回数は、この夏だけで20回を超えています。ぽんぽこ農園の野菜たちが、立派に社会貢献に役立っていることを改めて思い起こしてください。野菜たちと佐々木さんに心から感謝申し上げます。



(石田記)

## 戦略2032と東日本区の将来像

今月の強調月間テーマは「戦略2032」(Strategy 2032)です。

2022年7月、ワイズメンズクラブ国際協会では、協会創立100周年を機に、中長期計画である「戦略2032」を発表し、各地域・区・部・クラブでこれに基づく中長期計画を策定・推進することを求めました。キーワードは、「親睦(フェロウシップ)と地域社会への影響力」であり、また、世界中のワイズメンズクラブが重点的に取り組むテーマを「健康、環境、教育」と決めました。

東日本区ではこれに呼応し、また、昨今の会員数の減少、クラブの解散、区財政の悪化などの様々な課題を解決・克服し、より活力に満ち、より強固で社会に影響力を与える組織、より豊かな活動を行う組織を目指して、東日本区としての将来像およびその実現のためのアクションプラン(施策案)を提言するための「東日本区 チーム・イノベーション」(委員長:田中)が2023年9月に発足しました。

以来、9か月間の検討の末、2024年6月に答申を山田理事に提出しました。答申では、東日本区、区内の部、クラブが5年後にこうありたいという姿を「YMCAとの関係」、「ワイズメン/ウィメンの姿」、「活動/事業」、「組織」、「会員増強」、「ユース」の項目別に描き、それらの実現のための施策集をまとめました。また、緊急に取り組むべき課題として、東日本区の財政の健全化と西日本区との協力関係の強化を挙げ、具体的アクションプランを提示しました。

今後、答申をもとに、東日本区、各部、各クラブで施策の採否、プリアリティー付けが行われ、実行に移されていくことを願っています。

答申の全文(「戦略2032」も収容)は、[ここ](#)をクリックしてお読みください。(田中記)

**編集後記** 7月から猛暑が続いています。8月に入りましたが、「危険な暑さ」は続くのでしょうか? どうぞご自愛ください。(i.i)

## YMCA ニュース

担当主事 小野 実

YMCA 運動へのご理解、ご協力に感謝いたします。

1. 毎年8月1日は東京YMCAが定める安全の日です。1988年のこの日に、東京YMCAのキャンプで起きた悲しい事故を覚えて、二度と同じような悲劇を起こさないために定めた日です。YMCAのプログラムに関わる一人ひとりが、尊い生命の重さと安全への認識を再確認する機会としています。今夏のプログラムに参加するすべての参加者と、携わる全てのスタッフ・ボランティアの健康と安全が守られますように心から祈ります。
2. 能登半島地震緊急支援募金は6月末までに8,827,994円が寄せられ、輪島市町野町の避難所運営スタッフの派遣費用、支援物資の購入費用等として用いられました。東京YMCAとしての活動は終了しましたが、今後は全国のYMCAが協力しながら、被災した子どもたちのレクリエーションやキャンプなどを計画、実施していく予定となっています。
3. 7月6日~7日、「山中湖センター100周年記念お披露目会」が山中湖センターで開催され、寄付協力者約40名が集まりました。
4. 経済的に困難を抱える家庭の子どもたち(小学生)を対象とした「山中エンジョイキャンプ」、そして、「外国にルーツのある子どものサマーキャンプ2024」を8月23日から2泊3日で山中湖センターにて同時に実施します。いずれも東京YMCA山中湖センター100周年記念事業「キャンプ100人招待プログラム」として、多くの個人や企業の支援を受けて行われます。
5. 今年度から事業を開始した「多文化共生スペース▽(さんかく)」では、6月15日と7月13日に仲山淳子氏(東京YMCAにほんご学院講師)による「多文化理解講座」をハイブリッド形式で実施し、延べ85名の参加がありました。
6. 今後の主な行事予定  
「早天祈祷会」8月1日(山手センター/オンライン)  
奨励: 田附和久氏(日本YMCA同盟職員)  
「キッズワールドカップ in 韓国」8月7~11日  
(ソウルYMCAドラゴンキャンプ場)  
「第38回インターナショナル・チャリティーラン」  
9月28日(都立木場公園)  
「国際協力一斉街頭募金」新宿駅周辺 11月2日

### 今後の予定

- 8/6(火) 18:30~20:30 8月例会(別掲)
- 8/8(木)~8/11(日) 国際大会チェンマイ(タイ)
- 8/8(木) 19:00~20:30 Y友広場 Google-meet
- 8/12(月、休) 19:00~20:30 8月第2例会 Zoom
- 8/14(水) 19:00~20:30 東新部会長会 Google-meet
- 8/18(日)~19(月) 東京クラブウェルネス例会 山中湖
- 9/3(火) 19:00~20:30 9月例会 玉川学園コミセン